

公開講座・セミナー報告

第11回 生活の中のカウンセリング

子どもの育ちを支える 発達臨床心理学への招待

講師：本郷 一夫・金田 利子・尾久 裕紀
平木 典子・湯谷 優 各氏

子どもの発達過程において様々な課題があり、支援が必要になる場合がある。今回の講座では、幼児期から思春期までを対象として、「子どもの育ちを支える」ためにどのような支援が可能であるのか、多様な立場と視点から考えることを目的として企画した。

講師の方には、保育現場における気になる子どもへの関わり、非行臨床の現場における思春期の

子どもへの関わりなど、多様な立場からお話頂いた。また、子どもの育ちを支えるために、子ども本人だけでなく、家族へのアプローチについてもお話頂いた。5回の講座で、延べ542名の参加を得、参加者から質問や意見も活発に出された。各々の発達段階における臨床的な課題とその対応について、具体的なヒントが得ることが出来、アンケートからも非常に好評であった様子が伺えた。

プログラム

本郷 一夫 東北大学教授

「保育・教育現場における『気になる』
子どもの理解と対応」

6月6日(土)

金田 利子 白梅学園大学教授

「保育現場におけるカウンセリング」

7月11日(土)

尾久 裕紀 白梅学園大学教授・精神科医

「現代社会と子ども達 不登校、ひきこもり、
自傷をどのように考え、対応するか」

8月8日(土)

平木 典子 東京福祉大学大学院教授

「子育て、親育ちへの家族支援」

9月19日(土)

湯谷 優 埼玉県警察少年サポートセンター長

「思春期の子どもの不応
非行臨床の立場から」

10月3日(土)